

令和元年

第3回 定例会

●質疑とは……

議会に提出した議案に対してその内容や不明な点を聞くことです。

9月6日～9月30日

- | | |
|-------|----------|
| 28案件 | ……議案12案件 |
| | 認定8案件 |
| | 報告6案件 |
| | 請願1案件 |
| | 推薦1案件 |

質疑▼光陵中学校は洋式化等がなされるが、今後の他校への取り組みは。

答弁▼平成29年に修繕計画を、また昨年は長寿命化計画を作成した。既に洋式化したトイレも老朽化しており、今後は計画に則り順次、洋式化と改修を進めていく。
また、改修の際には、ウォシュレットとする予定。

こんな質疑がありました。

築40年が経過し、老朽化が著しい校舎及び体育館のトイレもウォシュレットに改修をする実施設計委託料100万円を承認しました。

また多目的トイレも新設予定です。

Pick up
1

光陵中学校のトイレを
ウォシュレットへ改修

予算決算常任委員会（令和元年度
補正予算）



Pick up 2

伊達高等学校をモデル校に 学校給食を検討

伊達高等学校をモデル校として、高校への給食の提供について検討を行います。業務委託費とアンケート調査費を含めた32万5千円を承認しました。



こんな質疑がありました。

質疑 ▼ 試し給食の対象生徒数・回数・時期は。

答弁 ▼ 全生徒と教員に無償で10月から11月に全5回行う。

生徒・教員・保護者に回数・

メニュー・金額等のアンケート調査を実施し、次年度以降の判断材料とする。

質疑 ▼ アレルギー対応や高校生用メニュー対応は。

答弁 ▼ メニューは小中学校と同じとし、量は中学生と同量を予定。アレルギー対応等の課題はあるが、まず希望者を募り実施していきたい。

Pick up 3

残業時間に制限を

働き方改革で残業時間に様々な決まりが設けられ、市職員が働きやすい環境に近づけるよう条例を改正。

こんな質疑がありました。

質疑 ▼ 現時点での伊達市職員の平均的な時間外勤務時間はどの程度であったか。

昨年度の最大の時間外勤務は把握しているか。

答弁 ▼ 職員の総計の時間外勤務時間は2万4千時間から2万5千時間である。

伊達市役所の一般職員250人については、年間100時間程度、一ヶ月では数時間の時間外勤務となる。平成30年度での最大は一年間で最高435時間という職員が1名いた。



過大な時間外勤務にならないよう努めていく。

Pick up 4 旧氏を併記できません

印鑑登録証明書に旧氏の記載ができるようになります。

また、男女別の項目も削除されます。

こんな質疑がありました。

質疑 ▶ 旧氏の記載は、申請の際に選択項目になるのか。

答弁 ▶ 旧氏の登録をしていただいた方のみが併記されるとになる。

質疑 ▶ 印鑑登録証明書の記載事項から男女の削除という項目もあるが、これはどういった理由か。

答弁 ▶ 契約関係の提出先で性別は必要がないので削除するものである。LGBTの方々への配慮につながると判断した。



豆知識



【市議会って何をするといふ?】

- みんなが「住みよい伊達市」をつくること話し合いをして決めるところが伊達市議会です。

【どうして、市議会があるの?】

- 伊達市には、約34000人の人がすんでいます。市民全員が集まって話し合うことはできません。そこで、選挙で市民の代表を選んで伊達市の仕事をするためのきまりなどを決めます。これが市議会で、この市民の代表者のことを市議会議員といいます。

【市議会はどんな仕事をするといふなの?】

- 市のきまりを決めたりあらためたりします。
- 市の仕事をするための予算をきめたり、正しく使われているかを調べたりします。
- 市の仕事が、市民のために正しく行われているか調べます。
- 国や北海道などに対しても「こうしてほしい」という意見を出します。

Pick up 5

森林所有不明者把握に予算措置

令和元年、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律が施行され、森林整備及びその促進に要する経費の財源に充てるため、基金条例が制定されました。

こんな質疑がありました。

質疑▼森林環境譲与税に何りかの制限はあるか。

答弁▼会計検査対象でもあり基本的には間伐や人材育成、木材利用の促進など森林整備中心となる。

所有者が不明な森林について市町村が所有者の把握等に努めるとされ、令和6年まではこの譲与税を財源に充てるよう国の指導もあり、所有者把握等に努める。



Pick up 6

教育・保育無償化に条例改正

10月からの保育無償化に対応するため、子ども・子育て支援法及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部改正に伴う条例改正が行われました。

こんな質疑がありました。

質疑▼副食費の徴収方法について、園が徴収とあるが、スマートにできるのか。

答弁▼7月に園と調整を行い、口座振替で対応と聞いている。

児童手当からの徴収方法もあると国から聞いている。

10月以降の無償化で恩恵を受けない課税世帯、0～2歳児を抱える資格者に対する保育料免除の措置等優遇策で保育士を確保したい。



答弁▼アンケート調査では待機者が100名を超えるとの予想もある。保育所、幼稚園の振り分け等もありつつある。

豆知識



【監査委員つてなに?】

● 監査委員は、地方自治法や地方公営企業法に基づき、各種の監査や審査、検査を行います。法律などに基づき定期的に行う監査としての例月出納検査は、会計管理者が管理する現金の出納事務が適正に行われているか毎月決算の日に検査するものです。

こんな質疑がありました。

運営管理費が6千5百万円となつていま
すが、ペレットの出荷量が減少しており、
製造コストの削減を考えていく必要があります。

運営管理費が6千5百万円となつていま
すが、ペレットの出荷量が減少しており、
製造コストの削減を考えしていく必要があります。

Pick up 7 木質ペレット製造業務

質疑▼木質ペレットの出荷量が減少していることをどう考えているか。
答弁▼平成26年をピークに出荷量が減少している。自社プランthouseでのペレット生産、また市外へ販売していた業者が減ったこともあり、出荷量が減少したことが要因と考えている。



Pick up 8

アプリダウンロード数の低迷

447万円の開発費をかけて、スマートフォンで利用できる子育て情報を中心とした、プッシュ通知型アプリの運用が始まりました。防災情報等も知ることができ便利なアプリです。

こんな質疑がありました。

質疑▼情報アプリの利用者数は把握しているか？

答弁▼ダウンロード数は約240件程度で、想定していた1000件には達してない。 「広報だて」で3回掲載またはコンビニでチラシを配布しているが、今後も周知していくたい。

意見▼様々な方法でのPRが必要と思われる。引き続き周知をお願いしたい。



Pick up 9

北海道胆振東部地震 被災地へ職員派遣

平成30年9月に北海道胆振東部地震で大きな被害を受けた厚真町、安平町へ延べ53名の職員を派遣しました。その経費は45万2千円でした。

こんな質疑がありました。

質疑▼派遣への経緯と対応はどうのに行われたのか。

答弁▼災害発生後すぐに胆振総合振興局へ問い合わせを行つた。

応援要請の連絡を待ち、約1週間後から避難所運営、健康相談、環境変化に対する家庭訪問、り災証明書発行に係る建物2次調査などの業務を行つた。



Pick up 10

伊達ワインへ一步前進

本年5月に職員、市民で苗木の植え付けを行つた。

ワイン用のぶどう苗は害虫被害などもほとんどの順調に育つている。

こんな質疑がありました。

たとの判断がされた。

質疑▼平成30年度に気象観測の機械購入及び土壌の分析を行つてゐるが、その結果はどうだつたか。

答弁▼気象観測は昨年6月から始めていた。

最低気温は2月8日マイナス15・6度。最高気温は昨年8月8日31・5度を記録している。

アドバイスをいただきているサントリーワインインターナショナルからのお話ではPH値は6・9ということです。土壤分析の結果問題はなかつ



Pick up 11

公用車のドライブレコーダー

伊達市には現在78台の公用車があり、そのうち8台にドライブレコーダーが設置されています。

今後、公用車のドライブレコーダーの設置を増やしていく予定です。

こんな質疑がありました。

質疑▼今後、ドライブレコーダーの設置を増やす意向があるのか伺う。

答弁▼予算の状況によるが、おり運転の報道や、市職員等のもらい事故のリスク、更には交通安全意識の高揚も含め、順次導入していく予定である。



Pick up 12 ひまわり保育所

現時点では、0歳から3歳児までの保育所となつておおり、4歳児に進級する際には、他の保育所へ転所することとなります。

次年度は4歳児、その後段階的に預かる学齢を広げていく予定です。

こんな質疑がありました。

を広げていく。



質疑 ▼ひまわり保育所の保育士は充足しているのか。

答弁 ▼充足している。ただし余裕があるわけではないので、引き続き保育士確保に努める。

質疑 ▼3歳児進級時に転所なくしてはならない点について、対応を考えているのか。

答弁 ▼兄弟姉妹が異なる保育所に通わなくてはならない問題もあり、次年度は4歳児までを受け入れる方向で調整している。

今後、更に5歳児にまで枠

Pick up 13 市民講座の受講生が増加

従来より人気の「野菜づくり」や新設の「鮭釣り」などが牽引役となり、市民講座の受講生が増加しています。

開設講座の工夫により、男性の受講生が少ないとといった課題も改善されつつあります。

こんな質疑がありました。

を広げていく。

質疑 ▼伊達区内のみの開催となつてているが、大滝区での開催はないのか。

答弁 ▼平成30年度は、大滝での開催講座はなかつたが、令和元年度は1回、開催を予定している。

質疑 ▼別事業ではあるが、「だて市民力レッジ」の受講者数はどうなつてしむ。

答弁 ▼「だて市民力レッジ」についても、参加者が増えている傾向にある。



Pick up 14

放課後子ども教室の課題

伊達西小学校で実施していた「放課後子ども教室」を、長和小学校でも実施しています。

両校併せての登録総数100人、述べ参加児童数は1、438人と、一定の成果をあげていますが、実施校を増やすには課題も見られます。

こんな質疑がありました。

ていない。

- 質疑** ▼ 2つの小学校で、実施日数が異なるのはなぜか。
- 答弁** ▼ 学校規模が異なり、登録児童数も異なるため。伊達西小では低学年、高学年の2クラス。長和小では全学年一致1クラスで実施している。
- 質疑** ▼ 他の小学校では実施しないのか。
- 答弁** ▼ ボランティアスタッフの数が足りず、実施校数を増やすのは、現在では難しい。指導者としてのスキルも必要なため、元教員等に声を掛けているが、必要数は満たし



豆知識



【決算ってなぜ行うの？】

● 地方自治法に基づき、市長は、監査委員の意見を付けて議会の認定に付さなければならぬことになっています。

その年度の歳入歳出予算執行の結果を総合的に検証し、行政施策の質や効果などを客観的に判断し、その後の予算編成や財政運営に活かしております。